

『平成17年度施策実施状況調書』

施策名		情報通信に関する標準化の推進			担当部局名	情報通信政策局 通信規格課		
上位政策との関係 (上位政策目標への貢献)		(1)上位政策との関係 ①情報通信技術のさらなる発展、②情報通信分野における国際競争の激化、③欧米における戦略的な標準化政策の推進が著しいこと、また、標準化の重要性がe-Japan 戦略、科学技術基本計画等において再認識されたことを受け、情報通信分野における標準化の推進を積極的に実施している。 (2)主な指標 標準化の評価については、総務省の標準化政策の実施による標準化への貢献度合いとして、国際標準化機関への標準提案の件数等が政策評価の指標として考えられる。そのため、「戦略的情報通信研究開発推進制度 国際技術獲得型研究開発」及び「情報通信分野における標準化活動の強化」の実施によって、ITU、IETF等に提案した「標準提案の件数」を指標として設定した。						
主な指標の状況		主な指標等		目標値	目標年度	14年度	15年度	16年度
		ITU、IETF等における標準提案の件数(情報通信分野における標準の形成状況)		20件程度	H17年度	34件	31件	71件
		国際的な連携に係る会合の開催		1回以上	毎年度	3回	2回	4回
施策の主な実施手段の状況	予算執行を主とするもの	事業名	概要		14年度	15年度	16年度	
		国際標準に向けた研究活動等の推進	光アクセス網、光伝送網等の情報通信分野における標準化の推進 「通信方式の標準化の推進」		9.5百万円(1件)	9.3百万円(1件)	9.3百万円(1件)	
		アジア発の次世代技術の確立	国際的な連携の強化 「国際的次世代情報通信網共同研究の推進」「開発途上国における電気通信の標準化に関する調査研究」		37.7百万円(2件) 30+7.7	37.6百万円(2件) 30+7.6	37.6百万円(2件) 30+7.6	
		暗号技術の標準化等の推進	暗号技術検討会の開催による暗号技術の評価及び標準化等 「情報通信ネットワークのセキュリティ評価等に関する調査研究」		180百万円(1件)	178百万円(1件)	34百万円(1件)	
		国際競争力の確保	重要な技術分野の標準化の取組の強化 「情報通信分野における標準化活動の強化」		—	—	98.6百万円(1件)	
	制度の企画・運用を主とするもの	項目	概要					
			該当なし					
	情報提供等を主とするもの、その他	項目	概要					
		総務省HPへの掲載	調査研究の報告書等を国民にわかりやすくPRするため、総務省のHPへ掲載。					
(業務改善への取組状況) ○ 光アクセス網、光伝送網等の情報通信分野における標準化の推進 ITUにおいて光アクセス網、光伝送網等の情報通信分野の主要な標準(勧告)が作成され、標準化が推進されていることから、目標達成に向けて成果が上がっている。 ○ 国際的な連携の強化 情報交換、国際共同研究等を実施しているAIC会合に参加、情報通信分野の標準化の協力を推進するためにASTAP会合に参加するなど、目標達成に向けて成果が上がっている。 ○ 暗号技術検討会の開催による暗号技術の評価及び標準化等 「暗号技術検討会」を開催して平成15年2月に電子政府推奨暗号リストを公表したのち、引き続き電子政府推奨暗号の監視及び暗号モジュールの評価基準等の検討等を実施するなど、目標の達成に向けて成果が上がっている。 ○ 重要な技術分野の標準化の取組の強化 情報通信分野における戦略的な国際標準化活動推進のための政策として、ITUやIETF等における国際標準提案の促進を図り、また、提案公募型の戦略的情報通信研究開発推進制度国際技術獲得型(SCOPE-I)において、国際標準提案に繋げるための研究開発の推進を図るなど、目標の達成に向けて成果が上がっている。								

『平成17年度施策実施状況調書』

本施策に関する課題等の状況	<p>○ 情報通信分野における標準化活動の強化 (課題) 我が国の国際競争力を確保するため、我が国にとって重要な技術分野に関する国際標準化活動を推進し、ITU等の国際標準化機関と民間フォーラムの連携を強化するなど、情報通信分野における標準化活動を戦略的に取り組んでいくことが必要である。</p>	予	制	情
	<p>○ 国際的な連携の強化 (課題) アジア・太平洋地域の重要性は増してきており、今後とも積極的に活動を推進し、国際技術の標準化を支援していくことが必要である。</p>	予	制	情
	<p>○ 暗号技術検討会の開催による暗号技術の評価及び標準化等 (課題) 情報通信技術が進展するとともに暗号に対する攻撃も日々高度化していくこと、また、「各府省の情報システム調達における暗号の利用方針(平成15年2月28日行政情報システム関係課長連絡会議了承)」において、総務省は「電子政府推奨暗号リスト」に掲載された暗号の安全性及び信頼性について必要に応じ評価を行う監視活動等を行う旨が定められていることから、当該政策について継続的に推進していくことが必要である。</p>	予	制	情
本施策に関する専門家の意見等	<p>○ 情報通信分野における標準の形成状況 「平成16年度情報通信審議会答申 国際電気通信連合電気通信標準化部門の活動への対処について(平成16年8月17日)」及び「情報通信審議会情報通信技術分科会ITU-R部会審議状況報告(平成17年2月28日)」を標準の形成状況の把握に活用した。</p> <p>○ 国際的な連携に係る会合の開催状況 「AIC第30回クアラルンプール(マレーシア)会合(平成16年4月)資料」及び「AIC第31回深セン(中国)会合(平成16年11月)資料」並びに「第8回ASTAP総会(平成16年8月)ASTAP推進連絡会資料」及び「第9回ASTAP総会(平成17年3月)ASTAP推進連絡会資料」を会合の開催状況の把握に活用した。</p> <p>○ 暗号技術検討会の開催状況、成果及び標準化等の状況 「暗号技術検討会(平成16年8月10日、平成17年1月20日、同年3月24日)報告書」を検討会の開催状況、成果及び標準化状況の把握に活用した。</p>			
本施策に関する主な資料	<p>○ 情報通信審議会情報通信技術分科会ITU-T部会及びITU-R部会資料 ○ AIC日本委員会資料 ○ ASTAP推進連絡会資料 ○ 暗号技術検討会報告書 http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/policyreports/chousa/ango/index.html</p>			